



横浜労災病院

TEL : 045-474-8111

当院ホームページ QRコード

横浜労災病院 腎臓内科のご紹介



当院腎臓内科とは

突然ですが、「腎臓内科」と聞くと皆様はどのようなイメージをお持ちになりますでしょうか？

「糖尿病や高血圧の患者さんが、いよいよ透析が必要になりそうになったら受診する科」ですとか、「尿検査を受けてみたら潜血や蛋白が出てしまい慌てて受診する科」などおっしゃる方もいらっしゃるかもしれません。

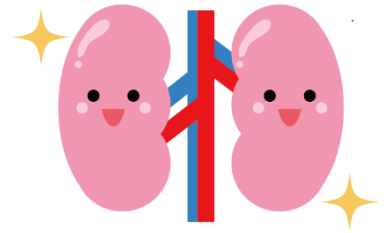
今回は、簡単に 1. 当院腎臓内科のご紹介、2. 診療している疾患、についてお話しさせていただきたいと思います。



神山 貴弘
腎臓内科 副部長

1. 当院腎臓内科のご紹介

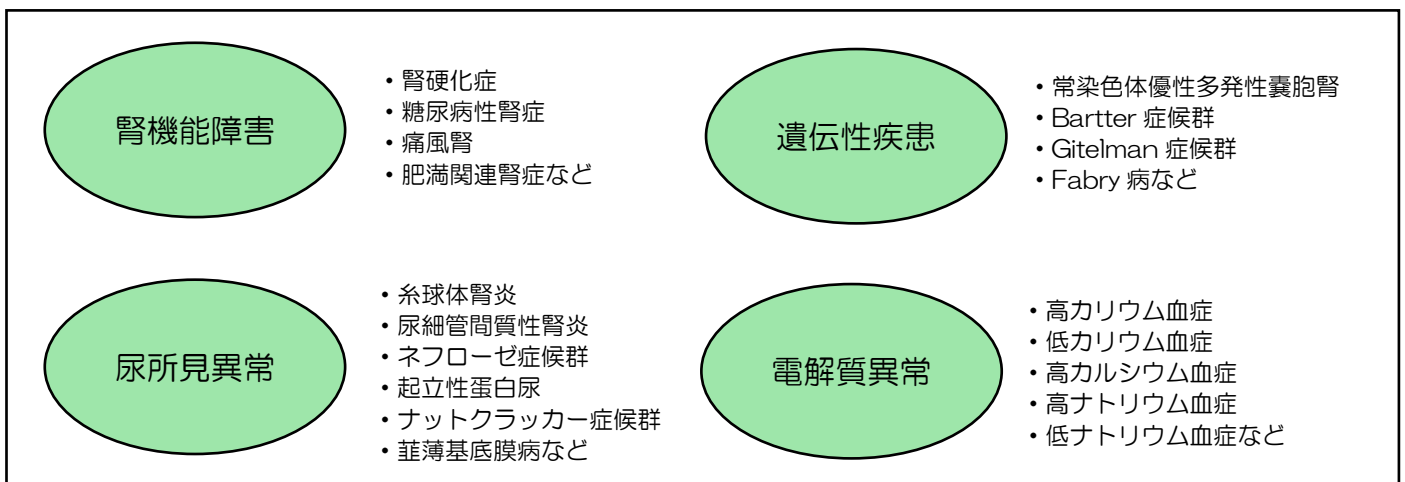
当科は常勤医師5名（うち1名は他院へ出向中）非常勤医師1名の合計6名体制で腎臓病診療にあたっています。外来は月曜日から金曜日まで毎日行っており、1日あたり1～2名ずつ地域からの紹介枠を設けています。腎生検などの都合で火曜日、木曜日、金曜日は午前中のみですが、それ以外は午後も外来診療を行っております。原則、予約制をとっており、ご紹介については平日8:15～17:00に予約専用電話番号(045-474-8882)までご連絡いただくようお願いいたします。



2. 対象となる疾患について

当科の主な役割として、「①腎不全によって腎代替療法（透析や腎移植）が必要になってしまうのを防ぐ、または可能な限り時期を遅らせる」「②腎疾患による影響で他臓器への悪影響が出ないようにする」ことだと考えています。

具体的な対象疾患としては下図に挙げたようなものがございます。



このように当科が対象とする疾患は多彩です。

厄介なことに、腎疾患は無症状か、電解質異常による倦怠感や筋力低下のように非特異的で分かりにくい症状で発症することが多いです。しかしながら、上図に挙げたような疾患は病変の首座が糸球体か尿細管か、あるいは腎臓以外の臓器かという違いに加えて、病因が高血圧や糖尿病などの血管性か免疫異常による炎症性変化なのかによっても治療内容や予後が大分異なります。

最後に

健康診断の結果やかかりつけの先生から「腎臓が悪いと言われた」、「尿検査で異常が出た」、「きっかけがないのに体がむくんで、どんどんと体重が増えている」など、腎臓内科を受診されるきっかけは様々だと思えます。

人生のなかでなるべく透析が必要となることがないように、是非腎臓内科でご相談ください。

